令和２年度

萩ジオパーク推進協議会

事業実績報告書及び決算書

萩ジオパーク推進協議会

（事業方針）

・地域会議や連絡会議を通じ、各地域のジオパーク活動を活性化する。

・体験プログラムやガイドツアーの充実と新規開発により、誰もが楽しめる萩のジオツーリズムを提供する。

・日英標記の公式ホームページの新設や笠山山頂展望台改修整備を通して、情報発信の強化やインバウンドへの対応を強化する。

・萩ジオパーク構想基本計画・実行計画に基づき、萩ジオパークを推進する。

（事業報告）

1　普及啓発の取組み

（1）萩ジオユニバース

昨年度、地域内住民向けの体験型講座の仕組みを整理して、「萩ジオユニバース」としたが、今年度は、新型コロナ対策のために、一線の研究者から大地の成り立ちを知る上で基本的な事柄や最新の研究成果を教示いただく「萩ジオアカデミー」及び食をテーマにした大地と人のつながりを楽しむ体験型講座「地球を食べる食堂」のみをオンラインで開催した。

萩ジオｅアカデミー講座

	タイトル（配信開始日）	氏名（肩書き）
1	地球の歴史（10 月 20 日）	脇田浩二（山口大学特命教授）
2	地質図の世界（10 月 27 日）	脇田浩二（山口大学特命教授）
3	地層と堆積作用（11 月 3 日）	宮田雄一郎（山口大学名誉教授）
4	活断層と地震（11 月 10 日）	金折裕司（山口大学元教授）
5	日本の地質とジオパーク（11 月 17 日）	脇田浩二（山口大学特命教授）
6	爆誕！プレートテクトニクス（11 月 24 日）	坂口有人（山口大学大学院創生科学研究科教授）
7	付加体とジオパーク（12 月 1 日）	脇田浩二（山口大学特命教授）
8	日本海形成と日本の地質（12 月 8 日）	高橋雅紀（産業技術総合研究所 地質調査総合センター）
9	火山の基礎（12 月 15 日）	清杉孝司（神戸大学海洋底探査センター講師）
10	白亜紀マグマ活動（12 月 22 日）	今岡照喜（山口大学名誉教授）
11	地形の基礎（1 月 5 日）	楮原京子（山口大学教育学部准教授）
12	地形・土壌と植生（1 月 12 日）	荒木陽子（大阪市立自然史博物館外来研究員）

受講料: 1 講座 500 円（全講座受講：5,000 円）

視聴者数：21 名（全講座受講者 18 名、県外：5 名）

地球を食べる食堂

日時			会場	講師	演題	参加人数
1月23日	土	13:30～15:30	むつみ（八千代酒造、伏馬山）	八千代酒造、Marble	日本酒（米・水）	38

参加費:視聴のみ500円、ベーシックセット4,000円、プレミアムセット10,000円

（2）出前講座・学習会・講演会　等

○出前講座（学校関係）　　25件、述べ847名（R1:31件、延べ1,183名）

○出前講座（各地域、公民館等）11件、述べ185名（R1:33件、延べ1,253名）

コロナ禍で集会形式の講演会等は減少した。学校関係では、修学旅行先を県内とした学校において、学校向け体験プログラムの実施を求める学校があった。

（３）萩ジオパークフェア 2021

昨年度コロナ禍で中止した山口市阿東地域交流センターを会場とし、3 月 14 日（日）、オンラインと併用して実施した（チラシ・当日配布資料参照）。

来場者数 484 名

なお、エントランスでは 3 月 11 日から 19 日まで、萩ジオパーク展と題し、萩ジオパークの紹介や赤青めがねによる立体地図、ＰＲ動画の上映を行った。

（４）協議会ＨＰの改修

萩市ＨＰ内に開設していた協議会ＨＰを新規ドメイン取得することで独立し 10 月 1 日から公開した。

（５）その他の取り組み

○ 工作キットの製作･販売　水玉ボトル･しましまボトル･ドロドロ実験

○ 県庁ジオパーク紹介コーナーの設置（山口県）

2 協議会連携体制づくり

地域連絡会議の開催

〇9/24　8 地域の担当者が会して実施。

情報発信コーナーの設置と地域間交流ツアーの実施に向けて協議した。

地域会議（地域の取組み）

・旭地域　11/21-22　ふるさとまつりでのパネル展示

・須佐地域　龍が通った道ガイド養成講座（全 3 回）
龍が通った道＆手打ちそば堪能ツアーの企画

・阿東地域　12/16　「阿東地域会議」萩ジオパークフェア 2021 に向けた協議
道の駅「願成就温泉」でのジオパーク情報コーナーの設置

学校教育連絡会議

〇8/20　第 1 回 学校教育連絡会議（オンライン）

各学校担当者と zoom でつなぎ、今年度の事業説明と学校向け体験プログラムやウェブ教材についての周知を図った。萩市の学校においては 8/6 に各校の情報担当者にオンライン会議ツールの研修を行ったばかりで、オンライン会議はこの会議が初めて、という方も多かった。

3　ガイド育成の取組みとジオツアーの商品化に向けて

（1）ジオツアーの商品化に向けて

コロナ禍で人の移動が制限され、実際のツアー催行が難しくなったことから、オンラインガイドツアー『どこでもジオツアー』を 6 月から実施した。8 月からは、企画づくりと現地ガイド及びカメラ役を萩ジオツーリズム協会に委託した。11 月、1 月のツアーは現地体験プログラムを提供している旅行会社 VELTRA の「オンラインアカデミー」の企画として販売した。

全 11 回　延べ参加者数 118 名

山口県央連携都市圏域（山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町）でおこなわれる「山口ゆめ回廊博覧会」の企画プレミアムゆめ散歩として、萩ジオツアー「〇〇さんに会いに行こう」を実施し、萩焼の名跡「坂高麗左衛門窯」を訪ねた。なお、この博覧会は今年度 10 月～12 月にプレ実施であり、2021 年 7 月～12 月に本実施がなされる。

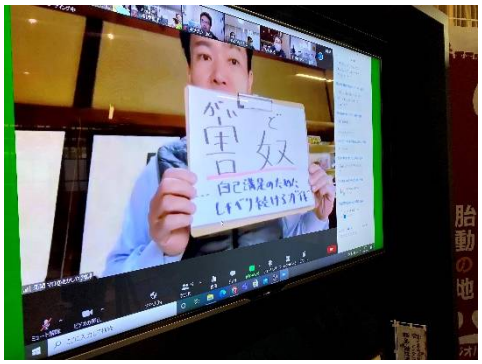
10 月 31 日（土）6 名

（２）人材育成の取組み　－地域での活動－

笠山では、地元で活動している笠山ジオの会によって、笠山山頂での 15 分の体験プログラムが造成され、11 月 14 日（土）に試行した。13 時から 1 時間ごとに実施し、30 名を超える参加があり、好評であった。笠山山頂展望台のリニューアルオープンにあわせ、体験プログラムの定期開催を目指し、練習を重ねている。

「龍が通った道」では、畳ヶ淵交流事業実行委員会主催のガイド養成講座が行われ、2 箇所のジオサイト「畳ヶ淵」及び「龍鱗郷」での体験を通して伝わるガイド手法を学んだ。この地域では、地元有志が令和元年 12 月から休校中の小学校舎で地元産のそばを用いた手打ち蕎麦屋を限定開店しており、これまでも昼食とセットでのガイドの照会があった。そこで、店休業日に手打ち蕎麦と連携した「龍が通った道」ガイドツアーを打ち出し、受入を始めている。

（３）オンラインインタープリテーション講座の開催



対面でのガイド養成講座の実施が難しいこと、オンラインガイドツアーでのガイド技術の向上を図るため、講師として（一社）をかしや代表理事の菊間彰氏にお願いし、2 月 27 日（土）・28 日（日）の 2 日間、オンラインでのインタープリテーション講座を実施した。オンラインでの受講であるため、全国のジオパーク関係者に呼びかけたところ、113 名の参加があった。

4　ネットワーク交流の取組み

（１）JGN 各種大会・研修会・視察等

コロナ禍で全国大会は中止となり、オンライン開催の会議･研修会が増えた。

〇5/25　　ＪＧＮ通常総会（書面決議）

〇6/1　　ＪＧＮ新規認定プレゼンテーション（オンライン視聴）

〇6/23・8/28・11/10　　第 11 回日本ジオパークネットワーク全国大会島根半島･宍道湖中海大会分科会･発表委員会（オンライン）

〇7/1　　オンラインジオツアー・スタートアップセミナー（萩主催）

〇7/4　　第６回東北ジオパーク学術研究者会議（オンライン）

〇7/12　　日本地球惑星科学連合大会（オンライン）

〇9/3・4　　ＪＧＣ主催研修会（オンライン）
〇9/25　　全地域事務局長会議（オンライン）
〇1/27-28　中四国近畿ブロック ガイド交流会・会議（オンライン）

（２）視察の受け入れ、ジオパーク専門員の講師派遣

コロナ禍で受入が減り、またオンラインで講座講師を務めることとなった。

視察受入

〇11 月 20 日　五島列島ジオパーク構想
　　２名講師派遣（白井専門員）
〇7 月　　五島列島ジオパーク構想（オンライン）
〇10 月　　白滝ジオパーク（再認定現地調査）

５）その他のジオパーク活動

（１）萩市ジオパーク活動補助事業

実際にジオパーク活動に向けた事業を展開することを目的とし、市内の団体に対し、上限 250,000 円の補助金を支出する。

- 特定非営利活動法人　萩元気食の会　250,000 円

「萩ふるさとごはんプロジェクト実施事業
　～萩の大地から生まれた、萩の食材と郷土料理を楽しもう～」

・伝統料理・郷土料理の調査及び資料整理、ジオと郷土料理や旬の食材にまつわるストーリーの取材を行い、それらを生かした食文化の伝承と普及を目的としたイベントを実施した。併せて、それらのガイドブックデータの制作とレシピサイト製作を行う。

- 萩ジオツーリズム協会　243,000 円

「萩の大地の魅力を伝えたい
　～萩の大地の成り立ちを空と水面下から探る～」

・ツアーの解説画像として空中及び水中の画像を撮影し、活用するツアーを実施した。なお、萩ジオパーク推進協議会にもＶＲ動画を提供し、萩ジオパークフェア 2021 会場でのサイクリング及びシーカヤックのバーチャル体験に活用された。

（２）笠山山頂展望台整備（萩市事業）

2 階部分にカフェを、3 階部分にジオパーク展示を行うための整備工事を行った。なお、カフェのオープンは 5 月 1 日を予定している。

（３）PR 動画制作（萩市事業）

15 分及び 3 分の 8Kの高画質ＰＲ動画を制作した。3 分版については 2 月から萩ジオパーク公式 YouTube チャンネルにて公開し、閲覧数 27 万回を超えている（3 月 22 日現在）。15 分版については、阿東地域交流センターでのジオパーク展示が初公開となった。

令和2年度　萩ジオパーク推進協議会　会計報告

協議会会計

1．収入の部

（単位：円）

項 目	予算額	決算額	差引増減額	摘要		決算額
補助金	8,093,000	7,091,972	-1,001,028	萩市補助金	萩市補助金	7,091,972
負担金	1,000,000	1,000,000	0	事業負担金	阿武町負担金	400,000
					山口市負担金	600,000
雑収入	823,428	668,746	-154,682	雑収入	各種講座・体験プログラム参加費	668,704
					預金利息	42
合　　計	**9,916,428**	**8,760,718**	**-1,155,710**			**8,760,718**

2．支出の部

（単位：円）

項目	予算額	決算額	差引増減額	費目	摘要	支出実績
報酬	600,000	600,000	0	報酬	戦略顧問報酬	600,000
報償費	577,000	653,088	76,088	報償費	講師謝金、ガイド謝金	653,088
旅費	1,999,744	150,989	-1,848,755	費用弁償	顧問、講師旅費	146,909
				普通旅費	事務局職員旅費	4,080
需用費	2,704,798	1,659,496	-1,045,302	消耗品費	オンラインプログラム配信機材、フェア資材、事務用品費　等	1,195,226
				食糧費	萩ジオパークフェア2021食材　等	41,320
				印刷製本費	チラシ、ガイドブック、マップ等	354,750
				修繕料	ビジターセンタースイッチ修繕　等	68,200
使用料及び賃借料	213,136	405,048	191,912	使用料	Adobeライセンス、バス借上、講師宿泊代、会場使用料　等	405,048
役務費	455,750	363,607	-92,143	通信運搬費	送料、切手代　等	186,154
				広告料	萩ジオパークフェア2021新聞広告　等	108,000
				手数料	オンラインツアー仲介手数料、各種振込手数料	57,453
				保険料	イベント、講座・研修等の保険料	12,000
委託料	1,560,000	3,388,490	1,828,490	委託料	公式ホームページ制作業務、萩ジオパーク展展示業務、笠山山頂展望台展示業務、ガイド研修業務　委託等	3,388,490
負担金補助及び交付金	1,806,000	1,510,000	-296,000	負担金	負担金、JGN年会費 等	1,510,000
寄付金	0	30,000	30,000	寄付金	熊本豪雨災害寄付金	30,000
合　　計	**9,916,428**	**8,760,718**	**-1,155,710**			**8,760,718**

永尾基金

項目	予算額	決算額	差引増減額	摘要
繰越金	3,000,076	3,000,076	0	故:永尾隆志氏寄付金の繰越
雑収入	24	25	1	
合　　計	**3,000,100**	**3,000,101**	**1**	